

春日の杜と鹿

(高木俊人氏撮影)



春日の杜は、いまや世界中の人々にとって、心のふるさととなっております。大都市近郊にこれだけ大規模な杜が残り、豊かさが評価されている場所はそうありません。本講では、春日の杜の豊かさの象徴である哺乳類、なかでも「奈良のシカ」と杜の関係についてお話ししたいと思います。

奈良公園で確認されている中大型の哺乳類は二二種。実はシカ(ニホンシカ)はその中で最も草原に適応した種だと思われていました。しかし「奈良のシカ」をよく観察すると、毎朝杜から出て夕方には杜へ戻り、睡眠・出産・子育ても杜で行うなど、シカと杜の深い関係が見えてきました。

当日は調査結果を交え、いかに春日の杜がシカを支えているか、また古の人々がいかにシカの生態を理解しつつ春日の杜を守ってきたか、想いを馳せたいと思います。

令和七年五月十一日(日)

北海道大学文学研究院特任助教

立澤 史郎氏

かすが

もり

どうぶつ

# 「春日の杜の動物たち」

## とくにシカと森の関係について

令和7年5月11日(日)

午後1時 開始

会場：感謝共生の館

会費：1,000円 (当日受付にてお納めください)

<当日の予定>

1	2	:	3	0	受	付
1	3	:	0	0	講	演
1	4	:	3	0	参	拝
1	5	:	0	0	終	了
					予	定

\*ご参加の方は公共交通機関(バス・電車)をご利用ください。お車でお越しの場合は、別途駐車料金が必要です。

\*状況により、講座内容の変更や開催を中止する場合がございます。

▼ お申し込みはハガキ・FAX / お問い合わせはお電話で ▼

〒630-8212 奈良市春日野町160 春日大社  
教化部(担当：中野)

TEL (0742) 22-7788 FAX (0742) 27-2114

春日大社の最新情報は <https://www.kasugataisha.or.jp/> をcheck!



春日大社

検索